
2012年度夏学期 第3回 駒場物性セミナー

トポロジカル超伝導体とその周辺

講師 佐藤 昌利氏 (東京大学物性研究所)

日時 2012年5月25日(金) 午後4時30分～

場所 16号館 827

異方的超伝導体の表面には、しばしばアンドレーエフ束縛状態と呼ばれる表面状態があらわれる。最近、このアンドレーエフ束縛状態と量子ホール状態に現れるエッジ状態との類似性が指摘され、この観点に注目した超伝導体(トポロジカル超伝導体)の研究が進んできている。

本セミナーでは、トポロジカル超伝導体の特徴的な励起であるマヨラナフェルミオンについて説明した後、最近、我々がおこなったトポロジカル絶縁体起源の超伝導体の表面状態に関する研究について報告をする。

[1] A. Yamakage, K. Yada, M. Sato, Y. Tanaka, arXiv:1112.5036 to appear in Phys. Rev. B.

今後の予定：

夏学期の物性セミナーの予定は下記のWEBページで公開しております。

6月15日	池上弘樹氏 (理化学研究所)
6月22日	大久保毅氏 (東京大学物性研究所)
6月29日	苅宿俊風氏 (東京大学理学系研究科)
	立方晶逆ペロブスカイト物質 Ca_3PbO におけるディラック電子
7月6日	松田巖氏 (東京大学物性研究所)
7月20日	中村泰信氏 (東京大学生産技術研究所)

物性セミナーのページ 「駒場物性セミナー」で検索！

物性セミナー世話人： 加藤雄介 堺 和光 福島孝治 前田京剛 簀口友紀